
素直になるまで

英華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

素直になるまで

【著者名】

英華

NZ742A

【あらすじ】

歩美から見た「哀への気持ちです。まんまですから、言つ事ありません。どうぞ。

哀ちゃん」とコナンくんって、ホントに仲がいい。

パツと見は分かんないだけど、歩美はそう思つ。何だか見えない糸が見えるような…うん、そつそつ。パパとママみたい。何も言つてないのに、全部分かつちやつみたいな。

学校の登下校だって、いつも一一人並んで、歩美達には分かんないお話してゐる。

それには、元太くんと光彦くんと三人で博士の家に行くと、何故かコナンくんはもう居て、哀ちゃんと一一人で仲良くコーヒー飲んでる。それぞれ本読んだりして、一人で一緒に何かしてる訳じゃないの。でも、そこにいるのが当たり前で、自然な雰囲気なの。

あとね、「コナンくんも、哀ちゃんも、無意識っぽいけど、見てる事があるんだよ。

いつもは大人っぽい哀ちゃんが、コナンくんを見て優しくほほ笑んでたり、コナンくんだったて見守つて感じの優しい表情で見てたりするんだよ。

まだあるよ。歩美、見ちゃつたの。

いつだったか、哀ちゃんが不安そうにしてる時があって、「心配すんな。俺が守つてやるから」

「コナンくんが哀ちゃんの手をぎゅーっと握つて頭を撫でてたり。哀ちゃんは、ホッとした表情になつたつけ。俺が守つてやる、なんていいなあ。コナンくんは哀ちゃんの王子様みたい。

そんな事、歩美には絶対ないもん。

二人は繋がってるなーって実感する。大切な存在なんだなって思う。

二人に言うと、すぐに反論されるけど。

「ばーろつーうつせーよ」

「興味ないわ」

つて。

でもね、いつも憎まれ口ばつかだし、お互にも自分にも素直じゃないと思うんだ。

あ、もしかしたら、二人は自分が彼、彼女を好きな事にも、気付いてないのかな。

歩美もコナンくんの事、好きなのにつ。だから少し嫉妬してる。正直言え、歩美だつたらもつと嬉しいけど、でも、哀ちゃんはかわいいし、敵いつこない。

それに、一人は歩美の、大事な大事なお友達、だもん。一人が幸せになつて、笑つてくれたら、歩美は嬉しいな。

でも…、やつぱり少しだけ悔しいから、もう少し一人を見てるだけにしよう。

二人が自分の気持ちに気付いて、素直になれるまで、歩美が見守つてあげるね。

(後書き)

初です。如何でしたか。

大変勝手気ままに楽しく書かせて頂きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8642a/>

素直になるまで

2010年10月28日07時38分発行